令和6年度　事業報告　　施設名　　幼保連携型認定こども園　同朋住吉台こども園

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)		延長保育利用人数（延人数）								一時保育	園庭開放他
									30分延長		1/1.5時間延長		2時間延長		日割り		（延人数）	（延人数）
令和5年度　事業報告	55 人	1号	15 人	606 人	1号	104 人	1号	58 %	540	人	7	人		人	347	人	118 人	59 人
		2,3号	40 人		2,3号	502 人	2,3号	105 %										
令和6年度　事業報告	55 人	1号	15 人	592 人	1号	90 人	1号	50 %	342	人	1	人		人	456	人	176 人	14 人
		2,3号	40 人		2,3号	502 人	2,3号	105 %										
ヒヤリハット　A(危険度重)B(危険度中)C(危険度軽)				事故報告　(受診を要した件数)					要望・意見・苦情　報告									
A：　15件　　B：　24件　　C：　7件				2件					要望：　０件　　意見：　０件　　苦情：　２件									

方針	基本法	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重		≪教育・保育理念≫ 同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切。子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追及し、積極的に福祉の増進を図る	・一人一人を認め大切にした保育を行う ・自分自身、友だち、物を大切にできる気持ちを育てる ・一人一人の人権を尊重し性別や国籍、障がいの有無によって区別することのない保育を行う ・権利擁護の実践・職員の人権尊重教育・個人情報の保護を徹底するため、権利擁護の研修を全職員が年１回受講する（６月） ・事故防止・ヒヤリハット事例検討会（年８回）虐待防止と早期発見に努める ≪チェックリスト年３回≫ ・苦情受付、相談体制の整備を行う	・子どもの人権マニュアル見直し ・虐待防止マニュアル見直し ・守秘義務守尊マニュアル見直し ・苦情解決についてのマニュアル見直し ・人権擁護のためのチェックリスト（年２回） ・虐待チェックリスト（年３回） ・人権擁護の研修（４回）	不適切な保育を行わない取組として、人権擁護の研修に力を入れ外部講師を招いての研修を年4回、その他にも外部研修に多く参加し職員へのフィードバックも行い、より質の高い保育を目指して取り組んだ。また、一年を通して、マニュアルの見直しを行い、子ども第一主義の関わりを徹底した。	引き続き人権擁護を中心とした外部研修行い、職員一人一人が保育のあり方を見直し、人権擁護の意識を高めていく。 人権に関するマニュアルの見直しや人権擁護のためのチェックリストを活用して、職員間で意見交換などを行い、お互いの保育を見直す機会を作り、質の高い保育に努めると共に、風通しの良い職場作りを行う。
サービスの質の向上		・サービスの明確化 ・保育内容・質の向上 ・健康及び安全	・保護者アンケート（年３回） ・保護者と共有保育目標作成、評価（年２回） ・登園時の健康状態把握（随時）日中検温（１日３回） ・園児一人一人の状態確認（随時）・玩具の見直し、消毒（随 時） ・温度・湿度点検（１日３回） ・乳児SIDSチェック（日々） ・安全点検（月１回） ・職員や子どもに対する安全確保指導・研修（年１回） ・月案会議（月１回）・ケース会議（年４回） ・保育の見える化 （インスタ、ドキュメンテーション、保育参観）	・保護者アンケート（保育・給食計３回） ・個別懇談会（６月）と保護者の方と職員で一年の振り返り ・園児の検温を行う（１日３回） ・玩具の修繕や成長に見合った玩具へ入れ替え ・温度・湿度点検（１日３回） ・午睡チェック（日々）安全点検（月１回） ・月案会議（月１回）ケース会議（年４回） ・保育の見える化（インスタ・ドキュメンテーション）随時 ・保育参加・給食参観（２回）	今年度は保護者からの要望もあり、保育参加・給食参観を数回設けた。子ども達の日常の生活や遊びの様子、保育教諭との関わりを観ていただき、子どもたちが伸び伸び過ごしている姿に安心していただくことができた。また、インスタでは、園の活動や行事を通して子どもたちが楽しんでいる様子がよくわかると喜んでいただけた。	保育参加・給食参観を引き続き定期的に行う。また、それに加えて9月に祖父母対象の保育参観を一週間期間を設けて行い、お孫さんの園での日常生活や遊びの様子を観ていただき、楽しい時間を過ごしていただく。インスタは、保護者の方が園での様子を把握し、安心していただけるツールの一つでもあるので、引き続き無理のない範囲で取り組む。また、個人情報に配慮していただき感謝していると保護者の方から言われていることもあり、個人情報に配慮した投稿を続ける。
地域との共生		・子育て支援 ・地域との連携 ・世代間交流 ・教育機関との連携	・子育て相談（随時） ・園庭開放や乳幼児子育て応援事業（年９６回） ・地域への保育室や運動場解放（地域総会やグランドゴルフ） ・地域交流センター交流会（２回） ・デイサービスセンター交流会（年２回） ・地域清掃（年２回）・総合避難訓練（年１回） ・地域の方の園行事の参加 ・小学校１年生との交流会 ・小学校連絡会（年２回） ・トライやるウイーク、ワークキャンプ受け入れ ・５歳児交流会（年４回） ・地域支援事業との連携（住吉台マルシェ年3回）	・子育て相談（随時） ・園庭開放や乳幼児子育て応援事業（年９６回） ・地域への駐車場や運動場解放（区社協による住吉台キッチンカーやマルシェ、グランドゴルフ） ・地域清掃（年２回） ・総合避難訓練（年１回）・５歳児交流会（年５回） ・地域の方の園行事の参加 ・小学校１年生との交流会 ・小学校連絡会（年２回） ・トライやるウイーク受入れ	地域と合同で行う、総合避難訓練では、地域の方にも子どもたちの避難を手伝っていただいたり、地域の方と職員が消防士の指導のもと、消火訓練を行ったりするなど、年々地域との連携が強化している。 5歳児交流会は、近隣園と5回交流することができた。回数を重ねるごとに、子どもたちは仲良くなり、小学校入学の期待にもつながった。	地域や近隣園との連携や交流が深まり、地域の中のこども園という存在が定着し、安心感や安定感につながっているので、引き続き様々な交流を続けていきたい。
人材育成		・職員の質の向上 ・働きやすい環境づくり	・スキルアップのためのキャリアアップ研修受講 ・次世代育成のための実習生の受け入れ ・研修計画に基づいた外部研修、園内研修 ・業務確認・成長シートのチェック（年２回）	・スキルアップのためのキャリアアップ研修受講（対象者） ・研修計画に基づいた外部研修、園内研修 ・業務確認・成長シートのチェック（年２回）	キャリアアップ研修やその他の外部研修、園内研修では、専門的な知識を学んだり、グループ討議を通して、他園や他の人の考え方を知ることができたりし、保育に活かすことができた。	様々な研修を受講することで、新しい知識を得たり、情報交換をしたりして自分自身の保育を見直し、保育に取り入れることが出来るので、引き続き積極的に受講していく。